

ご参加実績

本田技研工業	日産自動車	マツダ	三菱自動車工業	SUBARU
旭化成	東芝グループ	NECグループ	富士通グループ	キヤノングループ
ソニーマーケティング	日立製作所	アサヒビール	麒麟ビール	キュービー
味の素	明治	三井不動産	伊藤忠グループ	NTTグループ
東日本旅客鉄道	日本通運	成田国際空港	カシオ計算機	横河電機
YKK	第一生命保険	ポラ化成工業	ホンダファイナンス	東京大学
東レ	京成電鉄	ポッカサッポロフード&ビバレッジ	他	*社名順不同

2020 若手社員交流研修

次世代リーダーへのセルフイノベーション

BEAM CONSULTING GROUP

対象

若手社員層
入社3年目以降の20代が目安です（入社3年目～6年目くらいがボリュームゾーン）。職種は問いません。

日程

1泊2日（木・金）または（月・火） 宿泊研修

	日程	会場
第1回	9月 28日（月）～ 29日（火）	富士電機能力開発センター
第2回	10月 15日（木）～ 16日（金）	多摩永山情報教育センター
第3回	11月 16日（月）～ 17日（火）	富士電機能力開発センター
第4回	1月 21日（木）～ 22日（金）	島根イン青山

会場

富士電機能力開発センター
〒191-8502
東京都日野市富士町1番地
TEL:042-585-6334
JR中央線「豊田駅」徒歩約5分

多摩永山情報教育センター
〒206-0024
東京都多摩市諏訪2-5-1
TEL:042-372-7070
小田急線、または京王線「永山」駅徒歩8分

島根イン青山
〒107-0062
東京都港区南青山7-1-5
TEL:03-3797-3399
JR渋谷駅から都営バス、
青山学院中等部前下車、徒歩2分



ビーム・コンサルティンググループ株式会社
〒160-0005 東京都新宿区愛住町22 オカダビル
TEL 03(3354)2721 FAX 050(3737)1957
guest@beamcons.co.jp http://www.beamcons.co.jp

研修テーマと期待する成果

研修テーマ

「自ら発想して挑戦する」次世代リーダーを目指して

各社を取り巻く事業環境が大きく変わる中で、企業は従来にはない仕事のしかたやしくみを模索し続けています。そのような変革期の渦中において、次の時代のリーダーとして期待される若手社員に求められる役割や能力、仕事への姿勢等も従来のそれとはまた変わってきているはずですが。前例踏襲が通じない時代の潮流の中で、いわば海図無き航海の船員として、与えられた仕事をこなし成果を出すことに留まらず、自ら発想し（目標設定し）主体的に仕事に向き合う姿勢が今後益々問われることでしょう。またその目標達成のために、周囲を巻き込み、広い意味でのチームをコーディネートする力も問われるはずですが。またそのような行動の推進力となる知的好奇心や何事にも挑戦し、諦めないマインドも欠くことのできない要素と言えるでしょう。この研修では、次世代リーダーとして同様の期待をされる同世代の他社の若手社員とともに「自ら発想して挑戦する次世代リーダー像」について議論し、その輪郭を描くことを通じて、以下のような成果を期待しています。

- 次世代リーダーとしての役割意識の醸成
- 次世代リーダーとしての自画像（ありたい姿）を描き、当面何に磨きをかけていくかを明確にする
- 他社の若手社員の持つ知恵や経験、仕事のしかた、姿勢等を知り、視野を広げるとともに、次世代リーダーとしての期待に応えるための具体的なヒントを得る
- 他社の若手社員との交流を通じて、他社を鏡に自身の強み・弱みを知る

受講者の声

- 異業種との交流そのものに対する評価**
- 異業種の方々は今全く異なる視点で私の仕事を見てくださるので会社では出ない新たな意見を頂くことができました。
 - 営業はスピードが求められる中、技術職の方の考えを聞く事で、論理的に考えるヒントを見つけた気がします。
 - 営業の方の話し方、身振り手振り、資料の作り方。後輩・部下を持つ方の人間関係の作り方。何よりも仕事に対する皆様の敬意、考え方、姿勢が参考になりました。
 - 自分の弱みと思っていたことが実は違っていたり、また逆もあり、自分を客観的に見つめ直すことができた。
- 「ありたい自分」を考える上での参考度**
- あるべき姿の想像が具現化できた。将来のありたい姿に向けて何をすべきかということを確認することができた。
 - 人に伝えること、自分で声に出すことで、まだまだビジョンがはっきりしていない所が浮き彫りになりました。まず取り組むべきものがはっきりしました。
 - しっかりと自分の、あるべき姿、目指すべき姿に向かって「いつまでに、どうやって、誰と、どこまで」を整理できた。定期的に自分の立ち位置を把握し、考えるクセがつくきっかけになる。
- プログラムに関する評価**
- 過度に参加者に運営を任せられており、講義との時間のバランスが良かった。
 - 必要最低限の情報で、あとは各グループで考えさせていたので非常に考えさせられた。情報も過不足なく目的が分かりやすかった。
 - 自分のことを順を追って深掘りできたので学びやすかった。

タイムテーブル

第1日	9:30	【集合】 【オープニングオリエンテーション】 事務連絡、趣旨説明、自己紹介	第2日	7:00	【朝食】
	10:30	【導入フェーズ】 相互理解のフェーズ 《環境変化と各社の取り組みを共有》 事前ワークシートを活用した状況共有		8:30	【集約フェーズ（続き）】 《次世代リーダーとしての明日を描く》 先を見据えて、どのようなリーダーになりたいか？そのため当面何に磨きをかけていくべきか？を考える。 M y テーマシート作成 明日を描くトライアングルインタビュー
	12:00	【昼食】		9:00	M y テーマシート作成
	12:50	【展開フェーズ】 創発のフェーズ 【企画実習】 10年先を見据えた事業スキーム（ビジネスモデル）を考える		10:00	明日を描くトライアングルインタビュー
	16:00	討議結果の発表		12:00	【昼食】
18:00	【夕食】	12:50	M y テーマシートの補強		
18:50	【集約フェーズ】 次世代リーダーとしての明日を描くフェーズ 《相互チェック》 自己分析・他社分析 ~ 相互フィードバック 【チェックイン】 懇親会	14:00	M y テーマの発表と相互フィードバック		
20:30		16:00	明日からの行動宣言		
			16:40	【クロージング】 《クロージング&アンケート記入》	
			17:00	【解散】	

研修フロー

